

研究者情報

氏名	三瓶 千香子
役職	桜の聖母短期大学 教授 桜の聖母生涯学習センター長
所属	桜の聖母短期大学 キャリア教養学科
最終学歴	上智大学大学院文学研究科博士課程前期（教育学専攻）
学位	教育学修士
専門分野	生涯教育学
所属学会	内閣府認証 特定非営利活動法人 全日本大学開放推進機構（監事） 日本ウエルネス学会、大学教育学会、日本生涯教育学会
主要担当科目	「教育原理」「プランニング入門」「生涯学習概論」「キャリア形成論」 「地域形成論」「福島学」「リーダーシップ入門」など
研究課題	生涯学習、社会教育、地域づくり、生きがいつくり、高等教育、大学開放論、アクティブラーニング

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
単著	(その他：雑誌記事<寄稿論文>) 『福島学』から“21世紀型の青年” を育てる～2015年度高大連携プログラムを中心に～	日本青年館『社会教育』10月号、18-23頁	平成27年10月
単著	(論文) 「地方創生のコアとしての「傾聴ボランティア養成講座」～福島の問題 ニーズに応える取り組みの事例として～」	全日本大学開放推進機構 『UEJジャーナル』第18号、 http://www.uejp.jp/pdf/journal/18/18_1a.pdf	平成28年1月
共著	(論文) 「アクティブラーニングの試行に向けた先進的学習空間視察」(An Observation Report of Advanced Learning Area for Active Learning Trail)	桜の聖母短期大学『桜の聖母 短期大学紀要』第40号、1-31 頁。	平成28年3月
単著	(論文) 「これからの『福島学』の位置づけ に関する一考～2012年度からの4 年間を振り返って～」	『人間学研究所所報』第21 号、桜の聖母短期大学人間学 研究所、13-25頁。	平成28年3月
単著	(論文) 「イベント企画を通じて学生が獲得 した能力のテキストマイニング	桜の聖母短期大学『桜の聖母 短期大学紀要』第41号、	平成29年3月

<p>単著</p>	<p>分析－アクティブラーニングの有効性の模索－」（Analysis of Student Abilities through the Use of Text Mining for Event Planning-An Attempt at Analyzing the Effects of Active Learning-）</p> <p>（論文）</p> <p>「生涯学習支援から考える大学機能の拡充案～地域における大学のエンゲージメントを目指して～」</p>	<p>125-144 頁。</p> <p>『人間学研究所所報』第 22 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、27-45 頁。</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>
<p>単著</p>	<p>（論文）</p> <p>『若者はなぜ学習センターを利用しなくなったのか』考～“若者の声を届ける”官民学連携プロジェクト～」</p>	<p>日本青年館『社会教育』5 月号、52-59 頁</p>	<p>平成 29 年 5 月</p>
<p>単著</p>	<p>（論文）</p> <p>「地域における傾聴ボランティア養成の意義」</p>	<p>全日本大学開放推進機構『UEJ ジャーナル』第 24 号、http://www.uejp.jp/pdf/journal/24/241.pdf</p>	<p>平成 29 年 7 月</p>
<p>単著</p>	<p>（レポート）</p> <p>「そこにいる、ともにいる (being) 傾聴ボランティア養成講座－福島と広島連携講座レポート－」</p>	<p>全日本大学開放推進機構『UEJ ジャーナル』第 25 号、http://www.uejp.jp/pdf/journal/25/252.pdf</p>	<p>平成 29 年 10 月</p>
<p>単著</p>	<p>（雑誌寄稿）</p> <p>「公民館職員は『外へ』、大学は『受け皿に』－公民館と大学の「若者を考える・集める」連携プロジェクト」</p>	<p>『月刊公民館』2017 年 12 月号、14-18 頁。</p>	<p>平成 29 年 12 月</p>
<p>単著</p>	<p>（論文）</p> <p>「テキストマイニングを用いたイベント企画の過程にて学生が獲得した能力の分析Ⅱ－アクティブラーニングの有効性の模索－」（Analysis of Student Abilities through the Use of Text Mining for Event Planning II -An</p>	<p>桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 42 号、21-37 頁。</p>	<p>平成 30 年 3 月</p>

<p>単著</p>	<p>Attempt at Analyzing the Effects of Active Learning-)</p> <p>(論文)</p> <p>「田澤義鋪の宿泊講習実践における青年教育思想－地域におけるかわり創出検討の手がかりとして－」(A Study of the Young Education Philosophy of Yoshiharu Tazawa in Lodging Training Practice – with Consideration for the Creation of Relationships and Involvement in the Local Community－)</p>	<p>桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第43号、7-18頁。</p>	<p>平成31年3月</p>
<p>単著</p>	<p>(雑誌寄稿)</p> <p>「地域を眺める人から“中の人”への育成～地方大学に求められていること」</p>	<p>日本青年館『社会教育』10月号、6-12頁。</p>	<p>令和元年10月</p>
<p>単著</p>	<p>(研究ノート)</p> <p>「田澤義鋪の実習補習教育論に関する一考察－地域における「かわり創出」検討の手がかりとしてII－」(A Study on the Education Philosophy about the Business Supplementary Education Theory of Yoshiharu Tazawa – with Consideration for the “Creation of Relationships” and Involvement in the Local Community II－)</p>	<p>桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第44号、81-90頁。</p>	<p>令和2年3月</p>
<p>共著</p>	<p>(報告)</p> <p>「高齢者を対象としたオンライン学習推進の試み」(An Attempt to Promote Online Learning for the Elderly)</p>	<p>桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第45号、145-152頁。</p>	<p>令和3年3月</p>
<p>単著</p>	<p>「知識基盤社会における地方短期大学の強みとは～桜の聖母生涯学習センターを一例として～」ブ</p>	<p>全日本大学開放推進機構『UEJジャーナル』第35号、https://www.uejp.jp/pdf/jour</p>	<p>令和3年3月</p>

単著	プログラムを一例として」出相泰裕編著『学び直しとリカレント教育』 (ジャーナル寄稿) 「VUCA の時代だからこそ、生涯学習を！～私が『それでいいんですか?』と問う理由～」	nal/35/352.pdf とうほう地域総合研究所『福島島の進路』48-51 頁。	令和 4 年 5 月
共著	「地方女子短期大学の大学開放ー桜の聖母短期大学の履修証明プログラムを一例として」出相泰裕編著『学び直しとリカレント教育』	ミネルヴァ書房、172-187 頁。	令和 5 年 12 月
単著	(実践ノート) 「開放講座『ダンスで手作りアイスクリーム!』の展開ー短期大学が子どもたちに学びを開くということの一考察」	桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 48 号、101-112 頁。	令和 6 年 3 月
単著	「履修証明プログラム『桜おとなカレッジ』から見えてくるもの～桜の聖母短期大学の社会人学習支援～」	日本青年館『社会教育』1 月号、18-25 頁。	令和 7 年 1 月
共著	「複合災害の地で育つ“震災のかすった世代”の学ぶ力ー「福島学」の教育効果の検証ー」	日本青年館『社会教育』2 月号、6-16 頁。	令和 8 年 2 月

主な社会貢献活動

社会貢献活動	活動年月日
福島県生涯学習審議会	平成 27 年 2 月～平成 28 年 3 月
福島市生涯学習を進める市民会議	平成 27 年 2 月～令和 4 年 3 月
福島市「アクティブシニアセンター」コア会議 企画アドバイザー	平成 21 年 8 月～令和 2 年 3 月
日本青年館 評議員	平成 27 年 4 月～令和 3 年 3 月
文部科学省第 8 期中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会専門委員	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
一般財団法人短期大学基準協会 第三者評価員	平成 27 年 6 月-平成 28 年 3 月
KFB 福島放送 番組審議委員	平成 24 年 10 月～現在
南相馬市教育振興基本計画策定委員会 学識者委員	平成 27 年 1 月～平成 28 年 3 月
全国生涯学習ネットワークフォーラム福島大会実行委員	平成 27 年 6 月～11 月
福島県明るい選挙推進協議会委員	平成 29 年 3 月～令和 4 年 3 月
福島県立図書館協議会委員	平成 29 年 10 月～令和 8 年 3 月

福島市産官学プラットフォーム事業「人生 100 年時代 学び直し」チーム座長	平成 30 年 8 月～現在
郡山市教育振興基本計画審議会委員	令和元年 7 月～令和 2 年 3 月
一般財団法人短期大学基準協会 認証評価員	令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月
福島市国際交流協会 理事	令和 3 年 4 月～現在
一般財団法人 全国大学実務教育協会 社会人（卒業生）の学びに見合う資格や資格認定方法の検討チーム	令和 3 年 10 月～令和 5 年 3 月
福島市社会教育委員	令和 4 年 4 月～現在
国見町総合計画審議会特別委員 教育・子育て・福祉専門部会委員（くにみ学園基本構想策定委員）	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
福島県立福島高等学校 評議員	令和 4 年 4 月～令和 7 年 3 月
桑折町生涯学習基本計画（第 3 次）策定アドバイザー	令和 5 年 5 月～令和 5 年 12 月
公益財団法人福島県文化振興財団 理事	令和 6 年 6 月～現在
国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター社会教育主事講習講師	令和 6 年 4 月～現在
福島市教育振興基本計画策定有識者懇談会委員	令和 7 年 7 月～令和 8 年 3 月
郡山市社会教育委員	令和 7 年 8 月～現在

特別研究

テーマ／概要	生涯学習・自己づくり・地域づくり
特別研究内容	「生涯学習」を軸とする研究を行う。学ぶとは何かを追究することで、知と知、知と人、人と人、人と地域という様々なつながりの重要性、財産性、そしてその魅力を明らかにする。教育学、心理学、社会学、地域づくりをテーマにすることが多いが、生涯学習そのものが広い概念のため、多様かつ多角的なテーマ設定が可能なのが特徴の特別研究である。